



自治連だより

第5号

住民自治の拡充を

めざして



鳥取市自治連合会
会長 池原 範雄

去る五月十七日開催された定期総会において新年度体制が承認され、平成二十年度がスタートいたしました。

自治連合会の使命は、**住民自治**を拡充し、「よいまち」をつくることだと認識しています。

住民自治とは、その地域に暮らす人達が、互いに力を合わせ連携して、暮らしの中に生じる問題の解決に向けた、住民主導の自発的な活動であります。

また、「よいまち」というのは、生活が安全に守られ、日常生活に支障がなく、気持ちよく暮らせる「まち」、つまり、住んで良かったという実感を感じ、次代にも継続が可能な「まち」であると捉えています。

住民自治を促進するに当たっては、参加することから自覚を高め住民協働へ、住民協働から住民主導へと発展させることが重要であると考えております。

一方、住民生活保障の義務を負う行政機関と協働していくことも必要不可欠であります。

住民の皆さんが切望していることの多くは、早急なる生活基盤の整備・改善であります。

自治連合会は、このような皆さんの「強い願い・熱い思い」を心に刻み、自治連合会のあるべき理想の姿を求めながら、「働きかける組織体」として、鋭意取り組みたいと思っております。ご指導・ご協力をお願いします。

用瀬地区

地域・自治 を考える

用瀬地区
会長 谷村 萬吉

古希も過ぎ、少しのんびりしたいと思っていた時に、「用瀬町の自治会長を引き受けてくれないか。」と言う声を受け、任にあらずと一度は固辞したものの新たに受け手がないうちで、社会への恩返しと奉仕の一部にでもなろうかとの思いからお受けしました。それから早六ヶ月、最初感じたことは予想に反して「充て職」が多く自治会の仕事は別にして防犯防災、社会福祉、体育会、地域審議会、学校、図書館、生涯学習、その他各種の組織の会合出席など多忙な毎日を送らせていただいている今日であります。



新生鳥取市が誕生して早三年半、経過措置の期間も過ぎ今年度から市の大方針と言われる「地域力」を生かした「まちづくり元年」がスタートしました。

現状は町内にある地区公民館の組織、事業、機能を拡充強化して、町づくりの基礎を創りなおすということですが町も過去の歴史、伝統を踏まえ周囲の状況を見計らいながら迅速かつ慎重に取り組んでいます。

用瀬の町は旧来農林業と教育の町といわれた中で企業の誘致にも努め商工の振興も図りながら現在に至っております。

山高くして谷深く、三角山は男性の神としてあり、伝統の流しびな行事は女性の幸福を祈るものです。四季おりおり景観に恵まれた風光明媚な町であります。

用瀬町の自治連合会では「上方往来を生かした瀬戸川」に焦

点をあてた活性化事業や、幾多の歐穴群が集う「赤波川の溪流」の保存、八百八谷と言われる大小幾多の渓谷から飛瀑がかかる景勝地「中津美の渓谷」のPRなど三地区での自慢作りに取り組んでいます。

町づくりの資源が少ない中で、自分たちの周りを見直し地味でも特色のある町が創れないかと考えています。

他方、国と地方を合わせた借入金は一兆円を超すといわれ、今後の行政サービス低下と住民負担の増加は避けられません。地球上の資源は有限であり、世界二百一十カ国のせめぎあいの中、資源小国に住む私たちが、将来力強く行き抜くためにも日本人の特性であった勤勉実直、自主自立、思いやりの心を取り戻し、家庭、地域、町・・・で真の自治とは何かを問い直す時が来たのではないのでしょうか。



平成二十年度

定期総会

鳥取市自治連合会は、平成二十年五月十七日(土)午後二時三十分からとりぎん文化会館小ホールにおいて、町内会長二百四十名の出席のもと、平成二十年度定期総会を開催いたしました。総会に先立ち、同問題研修会では、鳥取市の人権推進員、植木克茂氏から「同問題の解決に向けて」と題し、貴重なご講演をいただきました。

総会では、森西辰良会長があいさつを述べた後、鳥取市長感謝状贈呈基準及び鳥取市自治連合会感謝状贈呈内規に基づき、長年町内会活動に功績のあった方々に対し、竹内鳥取市長、森西会長からそれぞれ感謝状及び記念品の贈呈が行われました。

続いて、竹内市長及び上杉鳥取市議会議長から祝辞をいただいた後、議案の審議に入りました。

- ① 平成十九年度事業報告及び収支決算、監査報告
- ② 平成二十年度事業計画



会長	池原 範雄
副会長	大久保 良隆
副会長	梶村 徳太郎
副会長	山田 建雄
副会長	久林 肇
副会長	房安 一也
監事	廣田 哲夫
監事	若林 玄侃
監事	中村 徹也

★新役員のお知らせ
平成二十年度定期総会において、次のおり新役員が承認されました。

- ③ (案)及び収支予算(案) 鳥取市自治連合会会則の一部改正
- ④ 役員承認 慎重に審議を行った結果、いずれの議案も原案どおり承認されました。

修立地区

地区における住民活動

修立地区 会長 岡田 一壽

地区では一段と少子高齢化が進み、一人暮らし家庭が増え、世帯数が減るなど課題を抱える中でまちづくりに取り組んでいます。



◆地区内の各種団体相互の連携と協力とをより推進するため、毎年七月に「団体交流研修会」を開いています。事前に決めたテーマに基づいて数団体が取り組みの現状や体験を報告、意見交換を行い協力して日ごろの生活の中で、活動を充実するよう努めています。

◆本年度は「まちづくり協議会」について、他から押し付けられるのではなく、日頃住民に接している各種団体が、どう協議会の組織化に向けて主体的に係わって行ったらよいか、じっくりと協議することとしています。

◆敬老会を毎年地区の社会福祉協議会が中心となり関係団体の協力を得て小学校で開催しています。

課題は「出席率が低い」「毎年参加される人が決まっている」等の問題が指摘されていますが、



また、平成十八年度には、文部科学省の「生活リズム向上のための調査研究指定」を受け、その後も継続して着実に取り組んでいます。

皆で知恵をしぼり、運営や内容を工夫しながら続けています。

◆地区文化祭を隔年に開催していますが、今年が開催の年で、十月二十九日(土)～三十日(日)の二日間、公民館で各種団体やサークル等の協力を得て開催する予定です。

例年多様な作品の展示、健康相談、バザー、喫茶等と賑やかで大きな結束力を発揮する場となっています。

◆健康づくり推進委員会と地区公民館の共催で、健康づくりと森林浴を目的として毎年行っています。

今年四月に、第一回(栗溪コース)五月に、第二回(久松山コース)七月に、第三回(摩尼山コース)を実施しました。自然の美しさに触れ、美味しい空気を一杯吸い、健康な体づくりの基礎を培うことができました。

◆平成元年に発足した「東中学校区心豊かな子どもを育てる会」の組織は、他の地区に無いものとして自負しています。現在も「東心会」と呼ばれ地域に愛され、活動が継続されています。

住宅地好評分譲中!!

賀露西浜ニュータウン

潮風香る、リゾート感覚の分譲住宅地

かにっこ館隣接

- 平均坪単価/135,500円
 - 最多販売価格帯/800万円台
- 上下水道の負担金不要

お問い合わせ先 鳥取市賀露西浜土地区画整理組合 理事長 小林 増夫 ☎0857-28-3596

面影地区

「みんなの自治会」

面影地区
会長 福山 宣明

◆はじめに

因幡三山の一つで万葉歌人の心を離さなかった由緒ある「面影山」を「母なる山」として慕い、寄り添うように私たち面影自治会は活動しております。標高百メートルの面影山の遊歩道には数多くの歌碑があり散策を楽しむ人々の心を癒してくれます。手頃なハイキングコースとして知られ、数多くの史跡も残されており興味そそる山です。

◆面影山とその周辺を鳥取市のシンボル公園に

平成十九年度の鳥取市の「きらめくまちづくり事業」に応募し、『一、面影山に桜の苗木百本を植栽する。二、面影山周辺の自然と環境を守る』を提案し、「きらめき面影まちづくり」事業が承認されました。

昨年は面影小学校と自治会が協働した「ホタルのみかクリンアップ作戦」



◆おわりに
面影地区は十五町区、二千三百余世帯が自治会、公民館、各種団体、小学校等を中心に目的を共有して活動しており、現在地域の身近な課題解決に向けた「まちづくり協議会（仮称）」の設立を目指して協議を続けています。

久松地区

自治会活動について

久松地区
会長 久林 肇

久松地区は、緑豊かな久松山系の南麓に位置し、四季折々に変化する美しい自然景観に恵まれた地区です。

地区には、二十町内会（千九百世帯）を含む、二十四の各種団体があります。これらは、各団体の自主性を尊重し合い、地区の活性化のために、連携と協調のもと、さまざまなコミュニケーション活動を展開しています。

地区住民の健康と親睦を目的として開催する『地区大運動会』、生涯学習の成果を発表する作品展や芸能発表会、持ち寄り品販売、飲・食・味コーナーなどの交流で賑う『公民館まつり』、環境美化意識の普及と高揚を図るための『ふれあい広場（久松公園）清掃行事』などは、各種団体、住民が積極的に取り組んでおり、今後も地区活性化事業の軸



として、充実発展させたいと思っています。

大和・神戸地区との農業体験や、地産地消を通じて食生活改善の役割を果たしている『ふるさと体験交流促進事業』。「史跡鳥取城跡保存整備計画」の大きな推進力となった『久松山を考える会』の活動。家庭訪問や食事サービス事業などで活躍している福祉関係団体、青少年・子供育成事業などの各種団体の活動も、地域の中核的事業であり、積極的に推進していきたいものです。

「安心・安全な住みよいまちづくり」のためには、地区住民が各事業に積極的に参加、交流することによる連帯感や、人と人とのふれあい、絆を深めていくことを醸成することが肝要と考えています。また、少子高齢化に対する支援体制の強化、防災・防犯対策なども緊急の課題と考えています。

「明日をひらく」

わたしたちは創造します・・・

「ひと」と人の心がふれあう水と緑と食の里づくり



JA鳥取いなば

代表理事組合長 近藤 儀徳

鳥取いなば農業協同組合 〒680-0942 鳥取市湖山町東5丁目 261
TEL 0857-32-1100(代) / FAX 0857-32-1130

**湖山池の風情に抱かれた、
寛ぎの霞の里温泉**



とっとり体験センター
レーク大樹

鳥取市金沢6番地(鳥取駅より車で15分)

TEL 0857-57-0301
www.lakedaiju.jp

ご宿泊・ご宴会承ります。

豊実地区

楽しいまち安全な地区をめざして

豊実地区
会長 大西隆秀

豊実地区は比較的平坦な田園風景の中に、七つの集落が点在する鳥取市で高齢化率が二番目に高い二十八戸ほどの地区です。豊実地区と明治地区を貫く暴れ川と呼ばれる野坂川と背骨になる一本の県道が国道道路につながるが、一方、吉岡地区・松保地区・東郷地区をそれぞれ峠越えの市道が連絡しています。

地区民にとって野坂川は農業用水確保と水に親しむ水辺として大切である一方、大雨時には水害の危険をはらむ心配の種でもあります。また、県道・市道・農道を問わず超スピードで頻繁に走り抜ける車に、住民は常に身の危険に晒されており交通安全こそが願いです。

県の指定を受けている急傾斜地崩壊危険箇所が五ヶ所と土石流危険渓流が一ヶ所あります。これら河川・道路と交通・急傾斜等の地区民に対する危険要因への対策は、住民の安全にとってゆるがせにできない問題であり、毎年集落自治会で点検を行う必要によって地区だけで解決困難な問題は行政に対して早い対応を要

望してきています。

集落ごとに組織されている自主防災会の活動を連携させるために、平成十九年度

に地区連絡協議会を立ち上げてはじめての訓練として、炊き出し訓練・シユノーケル車体験・初期消火訓練・煙り体験・救急救命講習を行いました。年次の訓練内容や災害に備える対策の向上と強化を図る計画です。自治会の財政規模も小さく、

高い高齢化率で活力が低下しつつある豊実地区ですが、緑滴の野山と野坂川の清流と汚れのないきれいな環境を守って、ひと昔前の豊実地区のような若者があふれる、若い力が漲っている時代を取り戻し新たな発展をめざして、自治会を支える全ての組織・団体・住民が一体になって諸活動を進めています。



祝豊実地区敬老会

地区の主な年間行事	
自治会総会	一月
区長会	随時
戦没者慰霊祭	三月
地区一斉清掃	三月
各種団体総会	四月
地区大運動会	六月
親水護岸清掃	七月
敬老事業	九月
地区祭り	十月
地区防災訓練	十月

★ 広報委員会 ★

～ホームページ部会だより～

鳥取市自治連合会ホームページは、試行的な運営を平成十八年二月から開始し、同年五月開催の総会において正式な開設が承認され、今年で満二年余が経過しました。現在までのアクセス件数は、八千回を越えて伸び続け、認知度の高まりをうかがわせています。

この間、掲載する情報やページ作成のテクニツク等大変苦労しましたが、先進事例などを吸収しつつ内容や技術をいろいろと工夫し、事務局とタイアップしながら、リアルタイムで魅力のある情報提供に努めてきました。

ホームページ開設の目的は、一つには、広く市民の皆様へ、鳥取市自治連合会の組織や活動内容を紹介することにより、組織に対する理解を深め

ていただき、ともに新しいまちづくりを進める事です。二つ目は、鳥取市自治連合会から地区組織、更には単位町内会に至る情報の流れが良好な組織運営の実現に寄与することです。せっかくの情報が活用されなければ宝の持ち腐れとなります。どうか地区会長・町内会長の皆さんにはインターネットになじんでいただき、大いに活用することで、多忙な事務的処理の効率化を図っていただくことも、情報の多様化・高度化・共有化に向けた共同の取り組みを一層推進したいものです。

★情報提供のお願い★
・「地区コミュニケーションの活動」記事
・「趣味の写真」提供
・詳しくは事務局とご相談下さい。

いど期待を記して編集後記としたいと思います。
○自治連の目標である「よいまちづくり」の参考にするために会員一人一人と共有したい情報
○その情報の実践例とその効果等を積極的に提供して欲しいと思います。

編集後記

「自治連だより第五号」の発行、自治連広報委員会の委員一部の変替を機に、広報委員会としての思い、編集にあたっての会員皆様へのお願

いど期待を記して編集後記としたいと思います。
○自治連の目標である「よいまちづくり」の参考にするために会員一人一人と共有したい情報
○その情報の実践例とその効果等を積極的に提供して欲しいと思います。

鳥取市土地開発公社より分譲地情報

湯川住宅団地は各区画ごとに温泉給湯が可能な団地です。毎日、マイホームで温泉を楽しむことができます。体にやさしく、住みやすい環境をご提案いたします。又、鳥取市では、鳥取市U-Jターン住宅支援事業もあります。支援等の情報は、公社・鳥取市の各ホームページでご覧頂けます。分譲地についてのお問い合わせは、お気軽にご連絡下さい。

1区画	平均
3.3㎡	105,000円

お問い合わせ先
鳥取市土地開発公社
〒680-0022 鳥取市西町2丁目311番地
TEL 0857-22-4742 FAX 0857-21-8074
URL <http://www5.ocn.ne.jp/~t-kousya/>
鳥取市鹿野町総合支所産業建設課
〒689-0405 鳥取市鹿野町鹿野1517番地
TEL 0857-84-2012 FAX 0857-84-2598

**ちよつと贅沢 ♪♪
温泉がひける鹿野町湯川住宅団地**

